

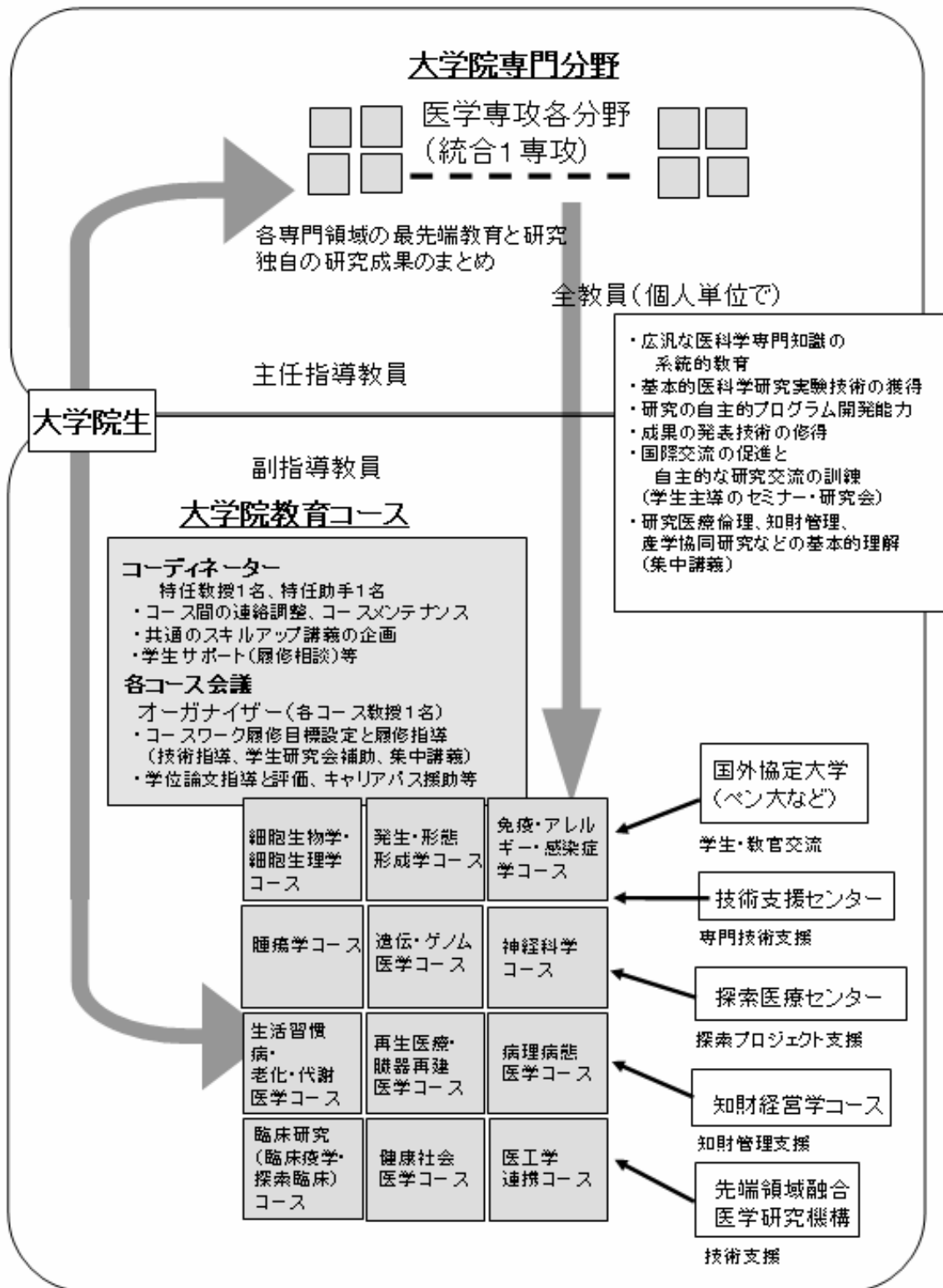
平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成17年7月現在)を抜粋

機 関 名	京都大学	整理番号	c008
1. 申請分野(系)	医療系		
2. 教育プログラムの名称	横断型系統的医学研究キャリアパス形成		
3. 関連研究分野(分科) (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) 基礎医学、内科系臨床医学、外科系臨床医学		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) (生理学一般、医科学一般、実験病理学、内科学一般、外科学一般)		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名) 医学研究科・内科系専攻[博士課程(一貫制)]	研究科長(取組代表者)の氏名 成宮 周	
	(その他関連する研究科・専攻名) 医学研究科・生理系専攻[博士課程(一貫制)]、病理系専攻[博士課程(一貫制)]、 外科系専攻[博士課程(一貫制)]、分子医学系専攻[博士課程(一貫制)]、脳統御医 科学系専攻[博士課程(一貫制)]、社会健康医学専攻[博士前期課程、博士後期課程]		
5. 本事業の全体像			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<p>研究者養成等の人材養成は、京都大学の使命であり重要な取り組みである。特に、医学・生命科学の急速な進展に対処するため、学際的・総合的な教育体制の構築が必要不可欠であり、境界領域研究者養成として、医薬工連携教育を充実し、医科学専攻博士後期課程の設置、医学、工学、情報学研究科等の研究科長及び教授からなる医工連携推進協議会の設置を行ってきた。</p> <p>さらに、振興調整費により、知的財産経営学コース、遺伝カウンセラー・臨床研究コーディネータ養成コース、ナノメディシン融合教育ユニットを設定し、先端領域融合医学研究機構を設置している。</p> <p>平成18年4月からは、医学研究科博士課程(4年制)の6専攻から1専攻への改組を予定し、これと共に本申請のような教育組織の再編を計画している。新しい大学院教育システムの構築について、大学としても支援を行いたい。</p>			

機 関 名	京都大学	整理番号	c008
<p>5-(2) これまでの教育研究活動の状況(現在まで行ってきた教育取組について)</p> <p>京都大学医学研究科は、全国に先駆けて大学院重点化を実施したが、その後も、医学研究科会議、医学研究科運営委員会のほか、KUROME（京都大学医学教育ワークショップ：全教授参加による定期的教育・研究ワークショップ）等で検討を重ね、大学院の改組・改革等を実施してきた。例えば、博士課程4年制では興味に従い学際的な研究ができるよう、所属講座以外の他専攻・他講座の教育・研究が受けられる制度を設けているほか、学外の11の優れた研究機関と連携大学院を締結し、大学院における教育・研究の向上を図っている。医科学専攻（修士2年制）においては、研究室所属までに半年間の医学履修コースを設けている。また、理工系の学生が進学しやすいよう入学試験の改革も行った。さらに医科学専攻には博士後期課程を設置した。また、工学研究科と連携した医工連携推進協議会を母体として、ナノメディシン教育ユニットを立ち上げた。社会健康医学系専攻（専門職学位）においては、産学連携や短期の臨床研究履修などを含む様々なコースを設置している。</p>			
<p>5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について)</p> <p>本医学研究科において、学生の特定専門分野における専門知識・能力の修得については、これまでの専攻内各分野（講座）における徹底した個人研究指導により十分達成されていることは、これまでの実績が示すとおりである。しかし、今日の医学研究の急激な進展と国際的な競争、成果還元への強い社会的要請などに鑑みると、さらに包括的・総合的医学知識と技術の取得、社会との連携を視野にいれた見識と倫理性、新領域開発につながる自主性と独自性、多様な国際的コミュニケーション能力の修得が必須の要件となってきた。</p> <p>このため、平成15年度頃より大学院改革委員会、KUROME等において精力的な議論を重ね、現在の6専攻（生理系専攻、病理系専攻、内科系専攻、外科系専攻、分子医学系専攻、脳統御医科学系専攻）を1専攻に統合することにした。この統合専攻では、従来の専門分野に加えて、体系的な教育履修ユニットとしての基礎・臨床・社会医学を横断する12の大学院教育コースを新たに設置する。ここでは学生は既存の専門分野に属すると同時に少なくとも一つの大学院教育コースに履修届を提出し、学位取得までの全経過を通して恒常的に両系統からの教育・研究指導を受けながら学位研究を進める。</p> <p>すなわち本プログラムにより、従来の伝統的な医学系大学院教育において培われる徹底的な個人教育という積極的な面を保持しつつも、新しい時代環境に即したより合理的で広い視点を教育に導入する包括的で全人的な大学院教育システムの構築を計画するものである。</p>			

6. 履修プロセスの概念図



機 関 名	京都大学	整理番号	c008
<p data-bbox="167 197 587 230">< 審査結果の概要及び採択理由 ></p> <p data-bbox="167 293 1428 472">「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的としています。</p> <p data-bbox="188 488 491 521">本事業の趣旨に照らし、</p> <p data-bbox="188 533 1428 613">①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか</p> <p data-bbox="188 629 1225 663">②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか</p> <p data-bbox="167 678 1428 857">の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が非常に優れており、十分期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に十分適合しており、その実現性も高く、一定の成果と今後の展開も十分期待できると判断され、採択となりました。</p> <p data-bbox="188 869 1209 902">なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。</p> <p data-bbox="177 965 635 999">〔特に優れた点、改善を要する点等〕</p> <ul data-bbox="167 1014 1428 1283" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="167 1014 1428 1193">・従来の医学系の専攻系から横断型に切り替え、他領域まで包含した教育組織編制が魅力であり、それに沿って、大学院教育コースの設置と担当専任教員が配置されており、計画も具体的に示されている。また、臨床研究の視点から大学院教育の実績を上げることは、今後、我が国の医学系大学院全体の中で極めて重要な課題であり、大きく期待するところである。 <li data-bbox="167 1205 1428 1283">・他学部等との融合においては、双方に大学院教育のメリットがあるように配慮することが望まれる。 			